



第 66号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

<E-mail>

matsuoka@kosanji.or.jp

推進員養成講座を受講して

K・K

東別院で5回の講座を受けました。色々なお寺から集まった方とともに榎山先生の法話を聞き、座談会で話し合いをしました。

話し合いの中で、

「そうか！なるほどな！」

「自分だけがくるしんでいるのではないのだな…。みんな同じようにいろんな悩みを抱えているんだな…。」と、共感しながら、本当の自分に気付かされました。

5回の推進員養成講座は自分を見つめなおす良いご縁になりました。

講座の一番始めに正信偈をお勤めしました。みなさ



んの大きな声で別院の議事堂の中は大音響でした。みんなが一緒になれる瞬間です。

聞法、なかなかできません。仕事の疲れで出にくいこともあるでしょう。家族の洗濯もあるでしょう。でも、時には心の洗濯もあってもいいのではないのでしょうか。現在の世の中を生きていくには何か拠りどころを忘れてはならないのではないかと思うこの頃です。

合掌

前期推進員養成講座に参加して

村上三智雄

何を推進するのかなと緊張しつつ東別院に着いたが、教務所には廣讚寺からの方々が多数みえたのでほっとする。講座は楳山正樹先生うめやまさきの法話を聞き、班別に分かれ座談会、そしてまとめの法話で終了する形式で七月まで五回ありました。六月に特別に念珠作りと懇親会が設けられ講座の意義が深まったと思いました。前期講習の感想をご報告いたします。

一、楳山先生の法話はわかりよかったがまとめにくい。テーマは決まっているが、ご自身の体験を多く入れられて難しい仏法のことをやさしく話されたので夢中で聞いてしまった。特に近江長浜市のお寺の長男としてお生まれになったが寺の跡取りにならず、稲沢のお寺にご養子として入られた。

お母さんの説得と死別の手紙(後に書いて渡されたもの)を見て、何か強い因縁、ご縁を感じられたと話された時は胸が熱くなり念仏が口から出てしまいました。世の中はとても無常で腹の立つことも多いが、これが当た

り前と思えば気が楽になりますとさとされる。私も不思議なご縁でここに聞法させていただいているのだと、また念仏。

二、念珠作りは楽しい

子玉を通すのは簡単でしたが、親玉を通して総ふさを編むのが大変に難しい。編み方が単純ではないので四苦八苦しましたが、さいわい手練れた先輩方に手伝っていただき完成しました。世界でたった一つの我が念珠が出来て喜びました。これからのお参りは、これでしょうと思えます。

三、座談会は仏事の情報交換の場でもある。

七班あって、各班は約十名で私の班は十名中四人が廣讚寺の方々でした。第一回は司会が西祐寺ご住職さんでもあったので、つい多弁をしてグラドルルの違反をしてしまったが二回目からは、その経験が生かされてスムーズに進行され、メンバーの親近感が高まった。

最終は「こんな機会をもっと」という意見があったと聞きました。廣讚寺住職はじめ二十組の役員の皆様、大変お世話になり有り難うございました。

七月五日 午後十一時から二七日

晁雅 佐久間政子

送るということ、頭の片隅に、おぼろげには八年前から描き覚悟をしていたつもり。その時に立つ私はしっかりと受け止めたと思ったのに少しの時間が過ぎ道筋をたどり進むこともできず立ち止まるしかない。

そんな八年間の中のほんの短い時に、今は翻弄ほんろうされている。周りの人に言葉をいっぱい頂いた。通夜、告別式、初七日法要を済まし、主人の位牌・遺影・遺骨を帰った家納め、見渡す家の中を、とうさんのために頑張ったのに使ってもらえなかった淋しさと娘と二人になる。何日かたたまれない洗濯物を取り入れ、たたみ、仕分け。そんなことできない自分に腹が立ち声が出てしまう。娘は大丈夫と言ってくれる。でも自分でそれが許せない。ハイになっていて今も続く。

涙もなく、娘たちが涙するも、もう泣かないで言葉にしてしまう。泣いている人から離れたく、そんな気持ちをおわかってもらえない。自分もわからなく淋しい。それ

でも、おとうさん送ったよ。無の世界というけど待つ人がたくさんいてくださるよ。とうさんは生ききったね。「もういいからね」の言葉だった。すべてがこうこうしく静かで、とても穏やかでいてくれ、それだけで安堵した今の私です。

皆様に支えられ見守ってもらいながらの今日までと今からです。ありがとうございます。なむあみだぶつ（皆様にお礼と感謝の気持ちを受け取っていただけたらと思っています）



平成24年度 廣讚寺講 決算報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	56,860円	火災共済	42,880円
廣讚寺講費(231名)	577,500円	建更共済	341,000円
貯金利息	66円	樹木剪定	168,500円
		前坊守御供花	16,000円
		香奠(2,000円×8名)	16,000円
		次年度繰越金	500,46円
合計	634,426円	合計	634,426円

上記の通り報告いたします。
平成25年8月31日

会計 秋田芳廣 
監査 寺西年一 

行事予定

九月 八日(日) 八時 庭そうじ
(昼おとぎ後、解散)

十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十三日(祝) 十時 秋季彼岸会
説教 廣瀬純史師
廣讚寺講総会
おかみそり

二十四日(火) 三時 彼岸お勤め
二十五日(水) 三時 彼岸お勤め
二十六日(木) 住職説教

二十八日(土) 十時 二十八日講総会

十月 十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(土) 二時～四時 学習会

二十八日(月) 十時 二十八日講・女人講